

令和3年度 第1回保育士就職支援セミナーレポート



子どもと一緒に楽しむわらべうたあそび

講師 神戸コグーイ芸術教育研究所 松本 久美子先生

☆新型コロナウイルス感染症の予防対策をしっかりと講じて実施しました。

令和3年6月26日(土)午前10時～11時45分に吹田市役所・研修室で開催。16人が参加しました。わらべうたあそびはセミナーアンケートでも実施を希望される方が多いテーマの一つです。

資料の譜をみながら、一曲一曲丁寧に歌い、メロディーが付いている楽譜だけでなく、音符のない『となえ』の譜の読み方などもわかりやすく解説してくださいました。



楽譜の読み方の説明



ふれあいあそび

新型コロナウイルス感染防止対策のため、参加者同士触れ合うことを避けて教えていただきました。講師が人形を赤ちゃんにみたててふれあいあそびをする様子を見てふりをまねたり、隣の方と一緒に布を持ち、距離を取りながらゆさぶりあそびなどをしました。



子どもと目を合わせて歌いながら楽しいゆさぶりあそび

一つの歌でもいろいろな年齢で、様々なあそびができることも教えていただきました。講師の歌に合わせていろんなバリエーションで行い、足じゃんけんあそびなどでは笑顔もこぼれるなごやかな雰囲気になりました。

わらべうたの歴史や、地方によって音程や言葉の違いなども、大変興味深い内容でした。

質疑応答でも『こもりうたをもう一度歌ってほしい』と要望がありました。

講師の優しい歌声に参加者の皆さんも心穏やかな時間も過ごしていただけたようです。

自身の声で優しく歌い、触れ合うわらべうたあそびは、子どもにとって大人との心地よいあそびです。スキンシップを楽しむことで、安心感や親しみをもち愛着関係を育む大切な時間になります。

今回のセミナーではあそびの伝承だけではなく、子どもを慈しみ、触れ合って遊ぶことの大切さを感じていただいたと思います。



セミナー参加者の声

先生の歌声がとても良かったです。歌と感覚、言葉とても密接な関係があるのだということがわかりました。今まであまり感じなかったのですが、わらべうたには小さなわくわくやドキドキがあることをとても感じました。そして同じ歌でもいろんな遊び方、使い方があって、年齢(発達)に応じて使い分けできる点も楽しかったです。言葉の素晴らしさを感じました。

『ねんねぐわしー』のこもりうたを初めて耳にし、とても心地良く、素敵な歌に出会えて嬉しいです。後で練習して、フルコーラス歌えるようになりたいと思いました。優しく歌えるわらべうた、素敵です。

とても優しい気持ちになりました。体を動かしながら歌うと気持ちがふっと緩んでいく気がしました。まずは簡単なわらべうたから実践していきます。

先生の歌声にも和みましたが、久しぶりに小声でも歌えたことで気分がすっきりしました。子どもの頃の遊びも思い出すことができました。これまで不思議な楽譜だと思っていたものを理解できたことも嬉しかったです。おもちゃや道具がなくても遊べることもわかって良かったです。

次回のお知らせ

10月の第2回保育士就職支援セミナーでは「絵本の読み聞かせ」のテーマで講座を予定しています。詳しくは市報やホームページでお知らせいたします。

